

寢惚先生初稿序

味。啗。之。味。增。臭。非。上。味。增。  
也。學。者。之。學。者。臭。非。真。學。  
者。也。方。今。學。者。移。居。於。中。  
川。思。濱。漢。上。之。裏。店。故。

正春大吉 朝寢房梓

寢惚先生文集

毛唐陳奮翁著

不許傳西  
口干山明

樂未終

貧鈍行

為貧為鈍奈世何食也不食吾口選

君不聞地獄沙汰金次策于持追形

貧乏多

明神，紙馬觀熊谷招教盛圖

引

憐哉敦盛者回顧若眾顏流石熊谷

非石木擧扇遙招御出聞無官大夫

還馬處義經辨慶後之山自後之山

聲見懸御首打答一谷邊二十餘年

榮華夢無跡驚為一片烟請看曉平

家不久紙馬奉懸御寶前

元月篇

君不見元月御江戶大名水路御門

則春風吹送素袍袖若水吸入繼煎

於濯至古濯餐團粉嚼老婆則有裡

與鬼事事詳亦本可以徵焉裡兮裡

兮何以腹鼓其為責鬼乎鬼兮鬼兮

何見而翔其為走彼蕩士舟乎若夫

老父於山老婆於川皆人之御存也

子供衆三子魂迄百一旦墮落于惡

則難天上于善聲諸覆油一升而次

即殿大與太耶殿犬皆終而往舞也

裡至燒背鑽燈山覆舟泥之海雖欲

不登粉團不啣老婆其可得乎故欲

二期樂則善字善者也序授之報也

送桃太郎序

桃太郎將征惡鳥取寶也被殺稚從

焉余代其父母贈言曰汝父汝母一

自為茶飲友建父楚山岳濯川時者

自謂三桃之流來也母取而食珍其

手分稱擲于父偶憶出少時吸砂煙  
草而震震然若有感乃變乃身生汝  
於山之下川之上汝生未取揚飛變  
有妙一如金平出生時也今歲有鬼  
島之行雖曰變子爲擬中而靡日不  
祭也夫鬼島踰此山虛言八百里若  
真兵糧則有日本一之黍團子豈  
嗜甘積糶燒也汝以其一與之菽狗

雉大加勢所謂金棒於鬼也吾聞鬼  
島有打出小槓及延命壽汝合力於  
菽狗雜曝鬼首於西海則鬼亦禱於  
可長鼻下而待也行矣挑太郎勉擲  
菽狗雜挑太郎延伸乃趨曰諾遂行  
無盡會稿序

有花有實造物者之無盡藏而多金  
多錢賴母子之初會日也故借茶屋

留金田 部惣太 著

明和四年秋九月大叶

東都畫肆 切抜屋小次

皇都畫林 嘉隆屋才七

浪季畫房 初編屋文十郎

通詩選序

味不失河東氣格而蘭洲

強弗取也一言半句惟三

強半可通以其牽強為牽

通無虛言牽強而有其牽

大堤下 耕書堂梓

李太白書通詩選序

四方樂管山人選註

耕書堂印

○長右 ながみぎ

於半 かたはみぎ

連理柵 れんりしやく

今 いま

時 とき

伊勢 いせ

○樂貧翁 らっぴんおう

○柳 やなぎ

魂膽 たまごころ

○暫 しばらく

○俠亭 げきてい

高慢 たうまん

○春風歌 はるかぜうた

君鬢 きみみづら

○可憐 かれん

○寢 ね

○百銅 ひゃくどう

○安髮 やすかみ

夜送長右 よのくにながみぎ

長子連理柵於半背申懸 ながこれんりしやくかたはみぎのせうしんけん

送君參伊勢灣名滿桂川 おくきみまゐりいせのうらなみみちのきんづか

倘粹摠別 たうさいしゆべつ

樂貧翁 らっぴんおう

○彼地別魂膽親父髮振冠 かのちべつたまごころおやのかみふるかんむり

暫時金已沒今日身猶寒 しばらくときかねはなしかるけふみまださむい

贈俠地廻金子豪 たまごころげきちのちまがねごう

○俠亭逆高慢雲突變知已 げきていさかたうまんぐもつとまへにち

可憐相半者恁態為誰恃 かれんあひまらうのぶたうたうたはたれたも

寢也為半 ねてもはま

比丘新 ひしうしん

○百銅楊柳腰已被春風歌 ひゃくどうやなぎのやうちのこしははるかぜうた

○安髮已斷君鬢那得 やすかみはきりきりきりきり

門 カド あり産むはらふ  
カド子終日五支

落城 カキ 堀川をさるる脚  
上白井あり

痴狂 カキ 病名無解  
カキカキ

掃除 カキ 非人郭中へ入  
カキカキ

御富子 カキ 七千枚  
カキカキ

電甲 カキ 兼衣小  
カキカキ

折 カキ 髪差 思臣兼卷  
カキカキ

中街珠簾 カキ 竹節  
カキカキ

頓罩 カキ 眉西施 髪  
カキカキ

白髮 カキ 三千丈 綴肩 似子長  
カキカキ

同急用 カキ 文使 觀漸 掃除  
カキカキ

入郭 カキ 入  
カキカキ

片時 カキ 榮花 乃袖 破不 覺新  
カキカキ

同急用 カキ 文使 觀漸 掃除  
カキカキ

入郭 カキ 入  
カキカキ

片時 カキ 榮花 乃袖 破不 覺新  
カキカキ

非人 カキ 御富 落騷 動始 應春  
カキカキ

買也處 カキ 小酌  
カキカキ

常任 カキ 買籠 甲疑 是御 娘瑕  
カキカキ

舉頭 カキ 折勾 匙低 頭落 髮差  
カキカキ

艷情 カキ 艷情  
カキカキ

中街 カキ 捲珠 簾離 妓擲 蛾眉  
カキカキ

但見 カキ 名倡 坐不知 心待 誰  
カキカキ

祝儀 カキ 歌  
カキカキ

白髮 カキ 三千丈 綴肩 似子長  
カキカキ



名倡 猶教人の名

祝儀 慶賀の儀

獨坐 ひとりまゐる

禿子 禿頭の者

相看 互に見る

獨坐 ひとりまゐる

獨坐 ひとりまゐる

禿子 禿頭の者

相看 互に見る

禿子 禿頭の者

相看 互に見る

禿子 禿頭の者

相看 互に見る

禿子 禿頭の者

相看 互に見る

禿子 禿頭の者

相看 互に見る

禿子 禿頭の者

相看 互に見る

禿子 禿頭の者

相看 互に見る

不知親類裏何處得衣裳

獨坐閨中床

禿子高飛盡傾城獨去閑

相看而不語只有名代顏

見開帳觀世音表貴堂

上

千水還流鉢龍人却上燈

相逢問心願步盡日參僧

貧因臺 王維坐

連立臨屋臺散醉何回

小言客衆起若者呼不來

半小用

怪來例刻閉筒下水道鳴

總向格子裏美人笑語聲

雜器

已見鹽梅通復聞庖丁費

欲心視大黑畏出直腕取

筑齋

丸散人不吞但聞藥研響

晚景步度蒼復責藥代上

直利筒

一坐遊興裏金銀復少

呼共人不倒傾城來相照

動真小

大黑鬢美

筒 小筒 筒 筒

倒 倒 倒 倒

貧 貧 貧 貧

筒 筒 筒 筒

倒 倒 倒 倒

筒 筒 筒 筒

格 格 格 格

雜 雜 雜 雜

丸 丸 丸 丸

晚 晚 晚 晚

直 直 直 直

一 一 一 一

呼 呼 呼 呼

動 動 動 動

金 金 金 金

圓 圓 圓 圓

○動真床上糞散臭氣生

動真床 糞散臭氣生

糞散 臭氣生

時拭屁眼跡不使二階行

少年行

遺却團子錢借馬驕不往

矢代射楊弓上總木綿丈

屁眼跡 矢代射楊弓上總木綿丈

二階行 矢代射楊弓上總木綿丈

借馬驕不往

遺却團子錢

○五兩借

借金忽千金

禮相贈

○證文不知數

空入五兩借金忽千金

分手續相贈南簾一片心

春前

掛鳥

○證文不知數

掛鳥

動真床上糞散臭氣生

時拭屁眼跡不使二階行

少年行

遺却團子錢借馬驕不往

矢代射楊弓上總木綿丈

○證文不知數

空入五兩借金忽千金

分手續相贈南簾一片心

春前

掛鳥

○證文不知數

空入五兩借金忽千金

禮相贈

○證文不知數

空入五兩借金忽千金

分手續相贈南簾一片心

春前

掛鳥

○證文不知數

掛鳥



